

ハンズオンラボの管理

初版 : 2015 年 08 月 20 日

ハンズオンラボ管理

WebEx ハンズオンラボの管理では、ラボおよびハンズオンラボセッションのコンピュータの設定と管理を行います。ハンズオンラボ管理でできること

- 新規ラボを作成する
- 既存のラボを編集する
- ラボを削除する
- ラボスケジュールを表示する
- ハンズオンラボセッション用のラボコンピュータを設定する
- コンピュータを他のラボに移動する
- ラボからのコンピュータを削除する
- 利用可能なラボコンピュータに接続する
- セッション内ラボコンピュータから切断する
- コンピュータの状態を参照する
- ハンズオンラボ使用レポートを生成する

ログイン

ハンズオンラボの管理にログインするには、ラボの管理権限を持つユーザーである必要があります。ユーザーアカウントについて疑問がある場合は、Training Center ウェブサイト管理者に問い合わせてください。

-
- ステップ 1** ハンズオンラボの管理ウェブサイトに移動します。
サイト URL の形式は以下の通りです。your_company はあなたの Training Center ウェブサイトのブランド名になります。
http://your_company.webex.com/your_company/labadmin.php

- ステップ2** ログインページの [ユーザー名] ボックスでユーザー名を入力します。
- ステップ3** [パスワード] ボックスにパスワードを入力します。
- ステップ4** [ログイン] をクリックします。

ログアウト

- ステップ1** ナビゲーションバーから [ログアウト] をクリックします。
- ステップ2** 表示されるダイアログボックスで、[OK] をクリックします。

ラボの管理

ラボの管理ページ

[ラボの管理] ページは、ナビゲーションバーの [ラボの管理] をクリックすると表示されます。このページにはすべての既存のラボ一覧が表示されます。新しいラボを作成するか、または既存のラボを選択して編集または削除します。選択しているラボのスケジュールを確認することも可能です。

以下の表にはページに表示されるカラムの一覧とその説明が記載されています。

表 1: ラボの管理ページ

カラム	説明
ラボ名	ラボ管理者によって設定されたラボの名前 (ラボ管理者による指定) 重要 トレーニングマネージャにより、「メンテナンスルーム」というラボが自動的に作成されます。このラボを使ってメンテナンスまたは修理が必要なラボコンピュータを保管します。メンテナンスを削除したり、変更することはできません。
説明	ラボ管理者によって設定されたラボの説明 (ラボ管理者による指定)

カラム	説明
総コンピュータ数	ラボに存在するコンピュータの数
セッション中のコンピュータ	ラボ内に存在し、かつアクティブセッション中のコンピュータの数
ラボスケジュール	各ラボのスケジュールリンク

新しいラボの作成

ハンズオンラボを設定するには、まずハンズオンラボコンピュータが置かれるラボを作成する必要があります。新規ラボを作成すると、トレーニングセッションの主催者は、ハンズオンラボセッションを実行するためにそのラボを選択できるようになります。主催者が **Training Center** ウェブサイトのナビゲーションバーから [ハンズオンラボ] をクリックすると、[ハンズオンラボ] ページに新規ラボが表示されます。

-
- ステップ1 ハンズオンラボの管理 ウェブサイトにログインします。
 - ステップ2 ナビゲーションバーから [ラボの管理] をクリックします。
 - ステップ3 [ラボの管理] ページで [新規ラボの作成] をクリックします。
 - ステップ4 [新規ラボの作成] ページの [ラボ名] ボックスに新しいラボの名前を入力します。
 - ステップ5 (オプション) [ラボの詳細] ボックスでラボの説明文を入力します。
[ラボの管理] ページと [ラボの詳細] ページに説明が表示されます。
 - ステップ6 [追加] をクリックします。
-

ラボの編集

新規ラボを作成した後も名前や説明を編集することができます。



重要 [メンテナンスルーム] ラボを編集することはできません。

-
- ステップ1** ナビゲーションバーから [ラボの管理] をクリックします。
- ステップ2** [ラボの管理] ページで編集するラボ名の隣にあるチェックボックスを選択します。
- ステップ3** [ラボの編集] をクリックします。
- ステップ4** ラボの名前を変更するには、[ラボ] ページの [ラボ名] のボックスで新しい名前を入力します。
- ステップ5** ラボの説明を変更するには、[ラボの編集] ページの [ラボの説明] のボックスで新しい説明を入力します。
- ステップ6** [更新] をクリックします。
-

ラボの削除

ラボを削除すると、主催者は、ハンズオンラボセッションを実行するためにそのラボを選択できなくなります。



重要 [メンテナンスルーム] ラボは削除できません。

はじめる前に

削除したいラボからすべてのコンピュータを削除します。

-
- ステップ1** ナビゲーションバーから [ラボの管理] を選択します。
- ステップ2** 削除するラボの名前の隣にあるチェックボックスを選択します。
- ステップ3** [ラボの削除] をクリックします。
削除するラボ内にコンピュータがある場合は、まずコンピュータを削除することを確認するエラーメッセージが表示されます。確認のダイアログボックスが表示されます。
- ステップ4** ダイアログボックスの [OK] をクリックします。
-

ラボスケジュールの表示

ラボスケジュールでラボとコンピュータがどのトレーニングセッションにより予約されているかを確認できます。

-
- ステップ1** ナビゲーションバーから [ラボの管理] をクリックします。
- ステップ2** 表示したいラボのとなりにある [スケジュールの表示] を選択します。
[ラボの詳細] ページでスケジュール済みラボを表示するには、ラボの名前をクリックし、カレンダーアイコンをクリックします。
- ステップ3** 時間割の上にカーソルを移動すると、[ラボスケジュール] の詳細が表示されます。
- ステップ4** 終了したら、[閉じる] をクリックします。
-

ラボコンピュータの管理

ハンズオンラボでラボコンピュータの以下の管理操作を実行します:

- ラボからコンピュータを設定する
- コンピュータを他のラボに移動する
- ラボからのコンピュータを削除する
- コンピュータに接続またはコンピュータから切断する
- コンピュータの状態を参照する

ローカルコンピュータおよびリモートコンピュータのシステム最小要件

WebEx Access Anywhere を使えばインターネットに接続されているコンピュータから別のコンピュータにリモートアクセスできます。ハンズオンラボにあるコンピュータ、およびラボにアクセスするコンピュータに Access Anywhere エージェントをインストールする必要があります。

Access Anywhere 用にコンピュータを設定する前に、リモートコンピュータとローカルコンピュータのそれぞれが次のシステム最小要件を満たしていることを確認してください。詳細はお使いのバージョンの WebEx Training Center の *WebEx Training Center* のリリースノートを参照してください。リリースノートには以下からアクセスできます。<http://www.cisco.com/c/en/us/support/conferencing/webex-training-center/products-release-notes-list.html>

ハンズオンラボ用コンピュータのセットアップ

Access Anywhere エージェントをインストールしてコンピュータをセットアップします。ラボ内でコンピュータをセットアップしたら、管理者としてログインしなくても Access Anywhere を使用することができます。Access Anywhere 設定の詳細については、Training Center 用のオンラインヘルプを参照してください。



(注) 1つのラボに配属できるのは1つのコンピュータだけです。あるラボに対しセットアップ済みのコンピュータを別のラボで選択すると、そのコンピュータは最初のラボから2番目のラボに移動します。

はじめる前に

- ラボが作成済みでラボにコンピュータをセットアップしようとしています。
- セットアップするコンピュータに Access Anywhere エージェントがインストール済みの場合、Access Anywhere エージェントをアンインストールし、コンピュータを再起動します。

ステップ 1 ナビゲーションバーから [ラボの管理] を選択します。

ステップ 2 [ラボの管理] ページでコンピュータをセットアップしたいラボの名前をクリックします。

ステップ 3 [ラボの詳細] ページで、[コンピュータの設定] を選択します。
コンピュータに Access Anywhere エージェントがインストール済みの場合、セットアッププロンプトに従ってアンインストールします。

ステップ 4 インストールを継続するには、[次へ] をクリックします。
既存の Access Anywhere エージェントのアンインストールのプロンプトが表示されたら、[OK] をクリックしてセットアップを終了します。
既存の Access Anywhere のインストールをアンインストールしたら、ステップ 1 からまたこの手順を繰り返します。

ステップ 5 WebEx Access Anywhere 設定ウィザードのプロンプトに従い、以下のパネルに必要な情報を入力して希望のオプションを設定します。

セクション	説明
アカウント情報	コンピュータにニックネームをつけた後、あなたが Training Center ウェブサイトのログイン時に使用されるパスワードを入力します。
オプション	コンピュータにリモートアクセスしたときに有効にしたいオプションを設定します。あなたが Access Anywhere をご使用の際には、これらのオプションのいずれも変更が可能です。選択するオプションがわからない場合は、既定の設定にします。

セクション	説明
アプリケーション	あなたがリモートコンピュータ上でアクセスするアプリケーションを選択します。代わりに、全リモートコンピュータのデスクトップにアクセスすることを選択することもできます。
認証	リモートアクセス時に使用するセキュリティオプションを設定してください。以下のいずれかのオプションを選択できます。 <ul style="list-style-type: none"> • [アクセスコードによる認証] を選択した場合、ウェブページ上でアクセスコードを入力します。 • 電話による認証では、あなたが指定した電話番号で電話を受け、パスコードを入力します。

ステップ6 [次へ] をクリックします。

ステップ7 [設定の終了] パネルにおいて、[終了] をクリックしてコンピュータにエージェントをインストールします。

コンピュータ状態の表示

[ラボの詳細] ページには、特定のラボのコンピュータ設定の一覧が表示されます。

ステップ1 ナビゲーションバーから [ラボの管理] を選択します。

ステップ2 [ラボの管理] ページでラボ名をクリックします。

ステップ3 [ラボの詳細] ページで状況を確認するコンピュータを見つけます。コンピュータ状態は [状態] カラムで確認できます。

コンピュータ状態の説明

状態	説明
利用可能	コンピュータは接続可能です。[接続] を選択してハンズオンラボコンピュータを操作します。

状態	説明
セッション中	コンピュータは現在ハンズオンラボセッションで使用中です。[セッション中]をクリックしてセッションの詳細を見ます。
オフライン	コンピュータは接続されておらず、使用できません。
ブロック済み	コンピュータはブロックされ、接続できません。

コンピュータを移動する

あるコンピュータが使用中または予約されていない場合は、そのコンピュータを別のラボに移動できます。コンピュータが予約できないようにするには、コンピュータを[メンテナンスルーム]に移動します。メンテナンスルームは修理、アップグレード、メンテナンスが必要なコンピュータを保管する場所です。

コンピュータを移動したら、新しいラボのコンピュータ一覧に表示されます。

-
- ステップ1 ナビゲーションバーから [ラボの管理] をクリックします。
 - ステップ2 [ラボの管理] ページでコンピュータを移動したいラボの名前をクリックします。
 - ステップ3 [ラボの詳細] ページで移動するコンピュータ名の隣にあるチェックボックスを選択します。
 - ステップ4 [移動先] をクリックします。
 - ステップ5 [コンピュータの移動] ダイアログボックスで、[移動先] ドロップダウンリストから、コンピュータの移動先になるラボを選択します。
 - ステップ6 [OK] をクリックするとイベントがプログラムに追加されます。
-

ラボからコンピュータを削除する

[利用可能] の状態のコンピュータをラボからいつでも削除することができます。コンピュータを削除したら、ハンズオンラボページでは表示されなくなり、またハンズオンラボセッションで利用することもできなくなります。



(注) 予約済みまたは [セッション中] 状態のコンピュータを削除することはできません。

-
- ステップ1 ナビゲーションバーから [ラボの管理] をクリックします。
 - ステップ2 [ラボの管理] ページで、削除するコンピュータが含まれるラボへのリンクをクリックします。
 - ステップ3 [ラボの詳細] ページで移動するコンピュータ名の隣にあるチェックボックスを選択します。
 - ステップ4 [削除] をクリックします。
 - ステップ5 [OK] をクリックして選択したコンピュータを削除することを確定します。
-

利用可能なコンピュータに接続する

[ラボの管理] ページから利用可能なコンピュータに接続し、管理することができます。利用可能なコンピュータに接続すると、そのコンピュータはハンズオンラボセッションを実行するために使用できません。

-
- ステップ1 ナビゲーションバーから [ラボの管理] をクリックします。
 - ステップ2 [ラボの管理] ページでコンピュータが含まれているラボの名前をクリックします。
 - ステップ3 [ラボの詳細] ページで、切断したいコンピュータのとなりの [接続] を選択します。
-

コンピュータの切断

コンピュータが [セッション中] 状態でも切断することができます。コンピュータを切断すると、Access Anywhere セッションが終了し、[利用可能] 状態に切り替わります。それからハンズオンラボセッション用に使用することができるようになります。

-
- ステップ1 ナビゲーションバーから [ラボの管理] をクリックします。
 - ステップ2 [ラボの管理] ページでコンピュータが含まれているラボの名前をクリックします。
 - ステップ3 [ラボの詳細] ページで、切断したいコンピュータのとなりの [切断] を選択します。
-

ハンズオンラボ使用レポートの生成

ハンズオンラボサイトでこのオプションを利用できるようになっている場合、過去3か月のハンズオンラボ使用レポートを生成し、表示することができます。

はじめる前に

Super Administrator によってハンズオンラボのレポートオプションが有効にされていないと、[レポート] リンクは表示されません。

-
- ステップ1 ナビゲーションバーから [レポート] をクリックします。
 - ステップ2 [ラボの選択] ドロップダウンリストから、レポートを生成するラボを選択します。
 - ステップ3 [から] および [まで] ドロップダウンリストから、使用状況を参照する期間の開始日と終了日を選択します。
 - ステップ4 [検索結果のソート順] ドロップダウンリストから、結果のソート方法を選択します。
 - ステップ5 [レポートを表示] を選択します。
-

ハンズオンラボの使用レポート

通常、次の情報がハンズオンラボ使用レポートに記載されます。列の見出しをクリックすると、情報をソートできます。

表 2: レポートの内容

カラム	説明
ラボ	コンピュータが置かれたラボの名前
ユーザー名	WebEx ユーザー ID
氏名	ユーザーの氏名
コンピュータ名	リモートコンピュータの名前
状態の変更	選択した期間におけるリモートコンピュータの状態は、(利用可能、セッション中、ブロック、オフライン) で切り替わります。
変更日時	状態が切り替わった時刻
継続時間	この状態が継続した時間

カラム	説明
クライアント IP アドレス	クライアントコンピュータ、つまりリモートコンピュータに接続されたコンピュータの IP アドレスです (セッション中の状態の場合のみ有効)。

THE SPECIFICATIONS AND INFORMATION REGARDING THE PRODUCTS IN THIS MANUAL ARE SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE. ALL STATEMENTS, INFORMATION, AND RECOMMENDATIONS IN THIS MANUAL ARE BELIEVED TO BE ACCURATE BUT ARE PRESENTED WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED. USERS MUST TAKE FULL RESPONSIBILITY FOR THEIR APPLICATION OF ANY PRODUCTS.

THE SOFTWARE LICENSE AND LIMITED WARRANTY FOR THE ACCOMPANYING PRODUCT ARE SET FORTH IN THE INFORMATION PACKET THAT SHIPPED WITH THE PRODUCT AND ARE INCORPORATED HEREIN BY THIS REFERENCE. IF YOU ARE UNABLE TO LOCATE THE SOFTWARE LICENSE OR LIMITED WARRANTY, CONTACT YOUR CISCO REPRESENTATIVE FOR A COPY.

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

NOTWITHSTANDING ANY OTHER WARRANTY HEREIN, ALL DOCUMENT FILES AND SOFTWARE OF THESE SUPPLIERS ARE PROVIDED "AS IS" WITH ALL FAULTS. CISCO AND THE ABOVE-NAMED SUPPLIERS DISCLAIM ALL WARRANTIES, EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THOSE OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OR ARISING FROM A COURSE OF DEALING, USAGE, OR TRADE PRACTICE.

IN NO EVENT SHALL CISCO OR ITS SUPPLIERS BE LIABLE FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, CONSEQUENTIAL, OR INCIDENTAL DAMAGES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, LOST PROFITS OR LOSS OR DAMAGE TO DATA ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THIS MANUAL, EVEN IF CISCO OR ITS SUPPLIERS HAVE BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

Any Internet Protocol (IP) addresses and phone numbers used in this document are not intended to be actual addresses and phone numbers. Any examples, command display output, network topology diagrams, and other figures included in the document are shown for illustrative purposes only. Any use of actual IP addresses or phone numbers in illustrative content is unintentional and coincidental.

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: <http://www.cisco.com/go/trademarks>. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1110R)

© 2015 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.